

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社コプロ・ホールディングス 上場取引所 東 名
 コード番号 7059 URL <https://www.copro-h.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）清川 甲介
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経営企画室長 （氏名）松田 高志 TEL 052-589-3066
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	8,297	20.8	619	48.0	614	42.0	379	42.9
2025年3月期第1四半期	6,870	27.1	418	77.2	432	40.2	265	39.0

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 380百万円（41.2％） 2025年3月期第1四半期 269百万円（42.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	19.93	19.72
2025年3月期第1四半期	13.82	13.37

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	12,262	8,074	64.5
2025年3月期	13,057	8,399	63.2

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 7,910百万円 2025年3月期 8,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		30.00	—	25.00	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であります。2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間の配当予想（合計）につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、記載しておりません。株式分割を考慮しない場合の2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当は50円00銭、年間配当合計は80円00銭です。なお、株式分割及び配当予想の修正については、2025年7月14日に公表しました「株式分割及び定款の一部変更並びに株式分割に伴う配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	
第2四半期（累計）	17,444	22.6	1,539	24.3	1,539	22.4	1,001	25.4	円 銭 26.25
通期	38,000	26.6	3,800	37.5	3,800	36.5	2,470	35.7	64.78

- （注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
2. 当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であります。
上記の1株当たり当期純利益は分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、第2四半期（累計）は52円51銭、通期は129円57銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	20,000,000株	2025年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	906,281株	2025年3月期	955,761株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	19,063,349株	2025年3月期1Q	19,238,910株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象の注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におきましては、当社グループの主要顧客が属する建設業界では、技術者の高齢化及び若手不足の構造的な問題は依然として続いており、加えて、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」により改正された労働基準法により、建設業界への時間外労働の上限規制が2024年4月に適用され、人手不足が深刻化しております。当社においても技術者派遣事業の足もとの受注状況は前年を大幅に上回っており、技術者派遣に対する需要は旺盛に推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは2022年5月に公表した中期経営計画「コプロ・グループ Build the Future 2027」（2023年3月期から2027年3月期）の実現に向け、中長期の成長を見据えた取組みを推進いたしました。

なお、中期経営計画の最終年度（2027年3月期）における財務業績目標は、計画期間の前半3カ年の良好な進捗を受け、連結売上高470億円（当初目標比+70億円）、Non-GAAP営業利益62億円（同+12億円）、グループ技術者数8,000人（同+1,800人）へ2025年5月に上方修正したほか、新たな目標項目として、連結営業利益56億円、1株当たり当期純利益（EPS）92円50銭（※）を追加公表いたしました。当社グループのコアサービスである建設技術者派遣を展開する株式会社コプロコンストラクションでは、規模と品質、双方で「圧倒的業界No.1」を目指し、事業成長の礎である技術者を確保する体制の構築を重点課題に掲げ、営業及び採用プロセスの更なる強化と教育研修の支援に係る取組みを推進いたしました。

（※）当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であります。上記の1株当たり当期純利益（EPS）は分割後の数値を記載しております。

採用面においては、厳しい採用環境が続く中、優秀且つ豊富な人材を顧客企業へ提供するという人材派遣会社として求められる基礎的サービスである人材供給力を高めるために、外部の人材紹介会社を使った採用に依存せず、当社の強みである自社選考による「ローコスト採用」に磨きをかけてまいりました。その中で重要となる応募の母集団形成においては、有料求人媒体に加え、自社求人サイト「ベスキャリ建設」や技術者からの紹介採用等、採用チャネルの拡大に取り組み、採用の応募数の拡大に注力いたしました。また、2025年4月より営業本部を名古屋から東京へ移転し、国内投資の3分の1を占める日本最大の関東マーケットのシェア拡大を推進する体制へ移行いたしました。加えて、ターゲット企業に定める大手ゼネコン・サブコンに対する深耕営業により、業界未経験者や女性施工管理などの幅広い案件受注に注力いたしました。

定着率の改善においては、採用拡大による人材供給に留まらず、当社が追求する本質的な提供価値である「人づくり」を実現するため、当社では入り口となる配属企業や配属現場の選定を特に重視しております。安定配属が見込まれる大手ゼネコン・サブコンを中心としたターゲット企業に対して重点的に配属を行うことに加え、当社所属の複数の技術者を同一現場に配属するチーム派遣・セット派遣を推進し、技術者、顧客企業、派遣会社である当社の三方にとってミスマッチのない状態を創出することを第一とし、質の高いマッチングに注力してまいりました。

また、教育研修の支援として、業界未経験者の採用数拡大に伴い、在籍技術者数の約7割を構成するまでに増加した在籍1、2年目の若手人材の定着率改善を最重要取組み事項に掲げ、派遣契約単価が大きく伸び始める在籍3年目の壁を超えられるよう、「エンジニア応援プラットフォーム」の構築を通じたオンボーディングやキャリアアップの支援強化を行ってまいりました。その一環として、2025年4月には、東京・品川に「監督のタネ 東京研修センター」を開設し、対面研修や実物を用いた実技研修等を通じた人材育成を開始したほか、入社1、2年目の業界未経験者に対する技術者基礎研修の定期的な実施や、建築施工管理技士等の国家資格取得を支援する学習サポートを推進いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における技術者数は前年同期末比703人増加（同17.7%増）し、4,664人（前連結会計期間末4,352人、前第1四半期連結会計期間末3,961人）となりました。

機電・半導体技術者派遣及びIT技術者派遣サービスを展開する株式会社コプロテクノロジーにおいては、半導体製造装置の保守点検を担うエンジニアの育成に特化した半導体技術者研修センター「セミコンテクノラボ」において未経験人材の採用・育成を進めました。これにより、当第1四半期連結会計期間末における機電・半導体技術者派遣サービスの技術者数は、前年同期末比119人増加（同49.4%増）し、360人となりました。他方、IT技術者派遣サービスにおける技術者数は160人と前年同期末比12人増加（同8.1%増）したものの、前連結会計期間末比では17人減少いたしました。引き続き、営業力の強化に努め、案件数の更なる獲得を目指してまいります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末のグループ技術者数は、建設技術者派遣の株式会社コプロコンストラクションを中心に伸長し、前年同期末比834人増加（同19.2%増）の5,184人（前連結会計期間末4,861人、前第1四半期連結会計期間末4,350人）と増加しました。

当第1四半期連結累計期間における建設技術者派遣における売上単価は、未経験者採用の拡大により契約単価の低い技術者構成比が上昇した影響を受け、578千円、前年同期比1.1%減となりましたが、売上単価の低下を補って余りある技術者数の増加率を実現した結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,297,591千円（前年同期比20.8%増）と増収となりました。利益面につきましては、売上高の増加及び売上原価率の改善に伴う売上総利益の増加に加え、エンジニア採用の戦略的投資を引き続き積極的に推進した一方、その他販管費の効率化の結果として、販売費及び一般管理費率が低下したことにより、営業利益は619,209千円（同48.0%増）の大幅増益となりました。また、経常利益は614,038千円（同42.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は379,942千円（同42.9%増）、1株当たり四半期純利益19円93銭（同44.2%増）となりました。

なお、当社グループは技術者派遣事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて794,711千円減少し、12,262,768千円となりました。これは、流動資産が689,007千円減少、固定資産が105,703千円減少したことによるものであります。

流動資産の減少は主に、売掛金が137,175千円増加した一方で、配当金の支払等により現金及び預金が1,027,534千円減少したことによるものであります。

固定資産の減少は主に、無形固定資産が33,021千円減少、投資その他の資産が52,811千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて469,274千円減少し、4,188,256千円となりました。これは、流動負債が394,012千円減少、固定負債が75,262千円減少したことによるものであります。

流動負債の減少は主に、未払金が218,181千円増加した一方で、未払法人税等が527,174千円減少、未払消費税等が164,227千円減少したことによるものであります。

固定負債の減少は主に、資産除去債務（固定）が74,626千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて325,436千円減少し、8,074,512千円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を379,942千円計上した一方で、剰余金の配当761,769千円を実施したことにより利益剰余金が381,826千円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,190,871	5,163,336
売掛金	4,140,362	4,277,538
その他	447,237	648,588
流動資産合計	10,778,471	10,089,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	395,390	378,221
建設仮勘定	74,250	74,250
その他（純額）	128,490	125,789
有形固定資産合計	598,131	578,261
無形固定資産		
のれん	555,809	525,907
その他	314,030	310,911
無形固定資産合計	869,840	836,818
投資その他の資産		
繰延税金資産	230,475	176,750
その他	580,559	581,473
投資その他の資産合計	811,035	758,224
固定資産合計	2,279,007	2,173,304
資産合計	13,057,479	12,262,768
負債の部		
流動負債		
未払金	2,512,368	2,730,550
未払法人税等	707,474	180,300
未払消費税等	885,391	721,163
賞与引当金	165,971	99,351
資産除去債務	—	81,006
その他	155,862	220,684
流動負債合計	4,427,068	4,033,056
固定負債		
退職給付に係る負債	40,311	41,328
資産除去債務	174,895	100,268
その他	15,256	13,603
固定負債合計	230,462	155,200
負債合計	4,657,531	4,188,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	1,376,804	1,371,884
利益剰余金	7,695,140	7,313,313
自己株式	△854,919	△810,660
株主資本合計	8,247,025	7,904,537
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,441	5,602
その他の包括利益累計額合計	5,441	5,602
新株予約権	147,481	164,372
純資産合計	8,399,948	8,074,512
負債純資産合計	13,057,479	12,262,768

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
売上高	6,870,969	8,297,591
売上原価	5,071,678	6,067,380
売上総利益	1,799,291	2,230,211
販売費及び一般管理費	1,380,936	1,611,002
営業利益	418,354	619,209
営業外収益		
受取利息	20	257
受取賃貸料	285	285
未払配当金除斥益	149	146
保険解約返戻金	13,904	—
助成金収入	—	720
受取補償金	—	544
その他	44	110
営業外収益合計	14,403	2,063
営業外費用		
支払利息	98	79
不動産賃貸費用	241	241
為替差損	8	3,594
固定資産除却損	—	3,094
その他	0	224
営業外費用合計	348	7,234
経常利益	432,408	614,038
特別利益		
新株予約権戻入益	13	—
特別利益合計	13	—
特別損失		
固定資産売却損	43	—
特別損失合計	43	—
税金等調整前四半期純利益	432,378	614,038
法人税、住民税及び事業税	133,585	180,370
法人税等調整額	32,925	53,725
法人税等合計	166,511	234,095
四半期純利益	265,867	379,942
親会社株主に帰属する四半期純利益	265,867	379,942

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	265,867	379,942
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,271	161
その他の包括利益合計	3,271	161
四半期包括利益	269,139	380,104
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	269,139	380,104

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	64,342千円	102,147千円
のれんの償却額	30,735	29,902

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、技術者派遣事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象の注記)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2025年7月14日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

(1) 株式分割の目的

株式分割を行うことで、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2025年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	20,000,000株
今回の分割により増加する株式数	20,000,000株
株式分割後の発行済株式総数	40,000,000株
株式分割後の発行可能株式総数	160,000,000株

③ 分割の日程

基準日公告日	2025年9月12日（予定）
基準日	2025年9月30日
効力発生日	2025年10月1日

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり四半期純利益	6円91銭	9円97銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	6円68銭	9円86銭

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

① 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2025年10月1日をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更いたします。

② 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

（下線は変更箇所を示しております。）

現行定款	変更後定款
第6条（発行可能株式総数） 当社の発行可能株式総数は、 <u>8,000万株</u> とする。	第6条（発行可能株式総数） 当社の発行可能株式総数は、 <u>16,000万株</u> とする。

③ 定款変更の日程

効力発生日 2025年10月1日

(4) その他

① 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

② 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、2025年10月1日以降に行使する新株予約権の1株当たりの行使価格を以下の通り調整いたします。

	取締役会決議日	調整前行使価額	調整後行使価額
第2回新株予約権	2018年3月12日	338円	169円
第3回新株予約権	2021年5月14日	642円	321円
第4回新株予約権	2022年5月13日	481円	241円
第5回新株予約権	2022年5月13日	481円	241円
第6回新株予約権	2023年10月13日	1,259円	630円
第7回新株予約権	2024年4月12日	1,644円	822円
第8回新株予約権	2024年4月12日	1,644円	822円